

# 米農務省(USDA)クロープリポート

(6/10発表)

フジフューチャーズ株式会社(情報企画課)

22年6月15日(火)

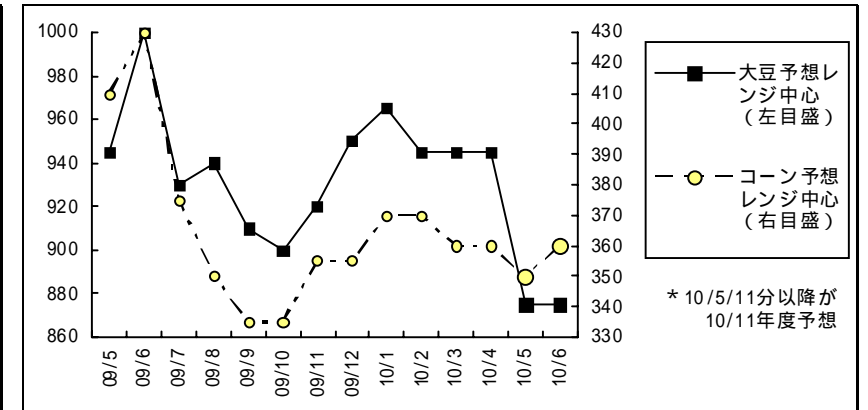
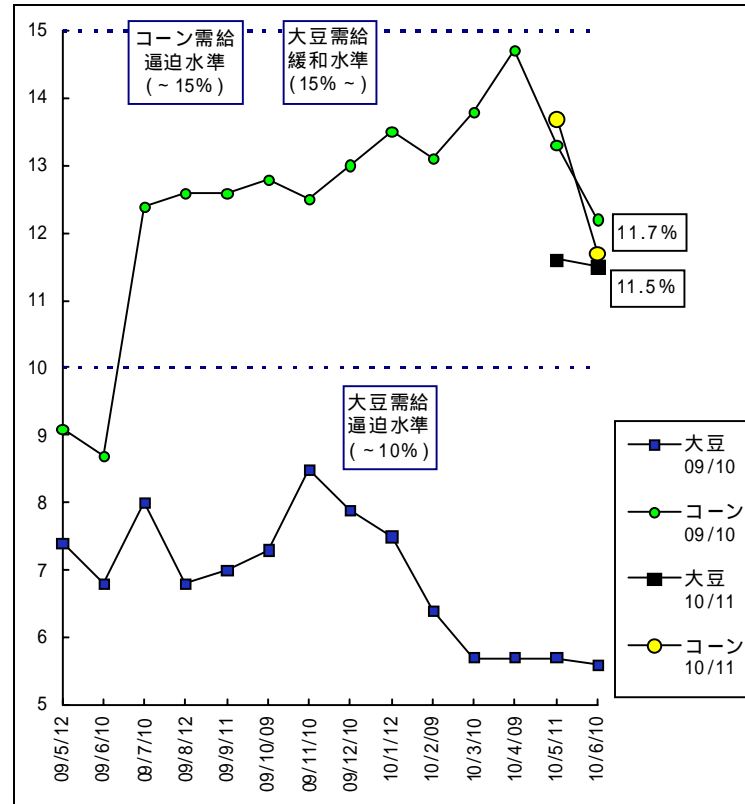
米国大豆需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11 年度		09/10 年度	
	6/10	5/11	6/10	5/11
総供給	3505	3510	3512	3512
期初在庫	185	190	138	138
生産	3310	3310	3359	3359
単収(bu/I-カー)	42.9	42.9	44.0	44.0
総需要	3144	3144	3328	3323
国内	1794	1794	1873	1868
輸出	1350	1350	1455	1455
期末在庫	360	365	185	190
期末在庫率	11.5%	11.6%	5.6%	5.7%
農家平均価格	800-950	800-950	950	950

米国コーン需給予想 (単位: 100万 bu)

発表日	10/11 年度		09/10 年度	
	6/10	5/11	6/10	5/11
総供給	14983	15118	14793	14793
期初在庫	1603	1738	1673	1673
生産	13370	13370	13110	13110
単収(bu/I-カー)	163.5	163.5	164.7	164.7
総需要	13410	13300	13190	13055
国内	11410	11300	11240	11105
輸出	2000	2000	1950	1950
期末在庫	1573	1818	1603	1738
期末在庫率	11.7%	13.7%	12.2%	13.3%
農家平均価格	330-390	320-380	345-365	350-370

米国大豆・コーン期末在庫率予想の推移



農家平均価格(現物相場)予想の推移

10/11 年度の期末在庫率予想は

**大豆 [11.5%] = 適正水準** 米国内の需給予想(10/11 年度分)は、前回から「期初在庫 0.05 億 bu 減」となり、そのまま期末在庫 0.05 億 bu 減。同在庫率 0.1 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は変わらず。世界全体の期末在庫予想は上方修正。主要国では、中国の生産予想が下方修正・需要予想が上方修正となりながらも、期末在庫予想は(期初在庫増加により)上方修正。

**コーン [11.7%] = 需給逼迫水準** 米国内の需給予想(10/11 年度分)は、前回から「期初在庫 1.35 億 bu 減」に対して「国内消費 1.10(うちエタノール用 1.00)億 bu 増」となり、期末在庫 2.45 億 bu 減・同在庫率 2.0 ポイント低下。農家平均価格(現物相場)予想の中心は 10 セント引き上げられた。世界全体の期末在庫予想も下方修正。主要国では、アルゼンチンの輸出予想が上方修正、中国の期末在庫予想が(期初在庫減少により)下方修正。

今回の発表内容は、コーンには強材料視され、大豆には中立的材料視される。発表日のシカゴでは、コーンが上伸(米国産の割安感などから今後輸出予想の上方修正を期待する向きもあるが、それ以上にこれまでの生育順調と好天から単収予想の上方修正を見込む向きが多く、買い人気は盛り上がっていない)、大豆は下落(中国の港湾在庫増加により、同国向け輸出への期待がやや後退。米産地の好天予想もやや弱材料視されたが、売り人気は盛り上がっていない)。